

5年

算数

倍数と公倍数

5年

組

名前

① 1～10までの偶数と奇数をすべて書きましょう。

偶数 (2・4・6・8・10) 奇数 (1・3・5・7・9)

② 5・6・7の整数を1回ずつ使って、いちばん小さい3けたの偶数を書きましょう。

(576)

③ 10と11は偶数と奇数です。

□に当てはまる数を書きましょう。

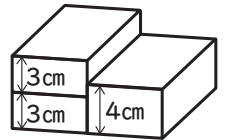
$$10 = 2 \times \boxed{5}$$

$$11 = 2 \times \boxed{5} + \boxed{1}$$

偶数は $2 \times \square$
奇数は $2 \times \square + 1$
になるね。



④ 高さが3cmの箱と高さが4cmの箱をそれぞれ積み上げていきます。下の表の空いているところをうめて完成させましょう。また、①～③の□に当てはまる言葉や数を書きましょう。



高さ \ 個数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
高さ3cmの箱 (cm)	3	6	9	12	15	18	21	24	27
高さ4cmの箱 (cm)	4	8	12	16	20	24	28	32	36

3に整数をかけてできる数を3の倍数と言うよ。

① 3と4の共通な倍数を、3と4の **公倍数** といいます。

② 最初に高さが等しくなるのは **12** cmのときです。

③ 公倍数のいちばん小さい数を **最小公倍数** といいます。



⑤ ①～③の公倍数を小さいほうから3つ()に書きましょう。

また、〔 〕には最小公倍数が出るまでの倍数を書きましょう。

① 5・7 5の倍数 [5・10・15・20・25・30・35]

(35・70・105) 7の倍数 [7・14・21・28・35]

② 6・10 6の倍数 [6・12・18・24・30]

(30・60・90) 10の倍数 [10・20・30]

③ 3・4・8 3の倍数 [3・6・9・12・15・18・21・24]

(24・48・72) 4の倍数 [4・8・12・16・20・24]

8の倍数 [8・16・24]

公倍数は
最小公倍数が
分かると、それを
2倍・3倍にする
といいね。

